毎月１５日発行　VOL.793　2025年5月１５日発行

全肢連情報

ZENSHIREN BULLETIN

皆様からニュースのご提供を
心からお待ちしております

□編集・発行
一般社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会
〒170-0005 東京都豊島区南大塚３－４３－１１
福祉財団ビル５階
ＴＥＬ：０３－３９７１－３６６６
ＦＡＸ：０３－３９７１－６０７９
メール zenshiren@zenshiren.or.jp

全肢連公式ホームページでも全肢連情報をご覧になれます
https://www.zenshiren.or.jp

全肢連　検索

令和６年度第２回理事会（令和７年３月24日開催）の議事要旨

令和７年３月２４日（月）、全肢連事務局のある福祉財団ビル７階の会議室において、令和６年度第２回理事会が、開催されました。

令和７年４月15日発行の全肢連情報にて、概要を掲載しましたが、先般議事録に清水会長、二重作監事の署名をいただきましたので、要旨をお知らせいたします。

なお、令和６年度事業報告（案）同決算（案）及び令和７年度事業計画等の議案書は、５月２６日（月）の総会一週間前に、その資料として各都道府県肢連宛にメールにてお送りいたします（総会にて承認後にホームページにも掲載します）。

日　時　：令和７年３月２４日（月）１３時３０分～１６時３０分
場　所　：福祉財団ビル７階　会議室
出 席 者：【理　事】（１１名）
清水　誠一／植松　潤治／松田　郁夫／河井　文／吉原　芳徳／御代川　栄子／光延　卓真／荻野　義昭／米田　操／濱田　聖美／山崎　久美／
【監　事】（１名）
二重作　誠一郎
【相談役】（１名）
石橋　吉章
欠 席 者：【理　事】（５名）
金　登美一／日比　奈緒美／橋本　佳子／三谷　美代子／町野　忠史
【監　事】（１名）
大石　辰夫

１．理事会が定款第33条に基づき定足数を満たし成立したことを報告した。
２．議長は、定款第32条に基づき、清水誠一代表理事が就任した。
３．議事録署名人は、定款第34条に基づき、議事録署名人は議長並びに二重作監事が就いた。議長は開会を宣し議事に入った。

〇第１号議案　第５７回全国大会（奈良）終了報告の件

　吉原常務理事より、第５７回全国大会は５７２名の参加者があり盛会裏に終了することができた旨報告された。

本議案は異議なくこれを承認。

〇第２号議案　　令和６年度事業進捗状況報告の件

　吉原常務理事より、
　令和６年度事業進捗状況報告の件について説明。令和６年度事業計画は概ね計画通りに実施できたことを説明。
　アステラス製薬の令和７年度の寄贈等についてご意向について。令和６年度、応募要項を緩和したところ応募件増加したので、その中からできれば寄贈を考えたいというのが今のところの方針を説明。日本財団に申請していたシーティング関係の事業が令和６年度不採択だったことから、育英基金を使用し、希望のあった沖縄でシーティング研修会を実施。
　各種イベント事業も予定通り実施。
　光延理事
　アステラス製薬は令和７年度もやるけれど、新たに募集はしないのか。
　吉原常務理事
　そのような方針をアステラス製薬の方から今内々聞いる。決定事項ではない。
　荻野理事
　令和６年度に漏れてしまったところは再度手を上げるのか確認をしてもらいたい。
　清水会長
　令和７年度は、基本的には今残った令和６年度に漏れた１６件に再エントリーの有無を確認し、それプラス新規も受付をする。

　本議案は異議なくこれを承認した。

〇　第３号議案

１．令和７年度事業計画（案）の件
　吉原常務理事より、令和７年度事業計画（案）の件の説明。概ね令和６年度と同規模の事業を実施予定。全国大会は札幌。総会は５月２６日、同日に第１回理事会、参議院議員会館会議室で開催予定。さわやかレクリエーションは、基本申請を受理する方向で考えている。ただし、経費の見直しは検討。あーと展は前年通り実施。療育キャンプは、１か所多く６か所で実施予定。助成決定後、速やかに募集開始。指導者セミナーは、「グループホームの設立に係る仕組みや補助制度」をテーマに、７ブロックで実施予定。
　荻野理事
　さわやかレクリエーションの件。愛知県の中で各団体に一団体一つの事業を申請してくださいとアナウンスをしていたが、中には二つ、三つとやりたいという団体がある。回数による制約みたいなものはうたっていないが、どの様に判断してアナウンスはどのようにしたらよいか。
　清水会長
　地域父母の会活性化につながる企画が二つあるということであれば、全体で８０件と予定しているが、助成金額の一部見直しが、あり得るかもしれないけれど、希望については基本的に全部叶えるようにしようと考えている。
　また、さわやかレクレーションで賄えない部分については育英基金の方も若干活用するということも視野に入れる時期ではないかと思う。特に今高齢化ということで会員の減少とか、支部が存続できないということもある。まだまだ父母の会で事業をやることで

活性化するのであるならば、なんとか全肢連としても、件数にこだわらないで採択をしていきたい。予算案が次にあるが、育英基金から具体的にこれとは出ていないが、どうしても金額が足りなくなってきた時には、検討委員会を開催していただき植松委員長へ支出の要望を出し審議してもらう。
植松副会長
いくつかの項目の中の一つに合致しているのであれば、取り崩し分含めて育英基金運用というのは検討する。
荻野理事
今まで助成金というと５万円～３万円程度とある程度区切っていたイメージがあるが、５万円を上限として、そこからの金額は特に定めなく、その時の状況に応じて変わってくるのか。
清水会長
事業総予算や参加人数等勘案したい
このさわやかレクレーションは全国のコカ・コーラボトラーズの各社からお金を出していただいて予算が４００万円。その予算や件数に限ってしまうと切り捨てていくことになってしまう。この事業ではそれぞれの父母の会が元気になってくれるっていうことを望んでいる。
石橋相談役
あーと展覧会の件、事業目的の最後に地区父母の会を知ってもらうこととあるが、現在のシステムでは応募・受付してということが各地区父母の会ではわからない。ここで地区父母の会知ってもらうのはアプローチかけられない。
清水会長
基本的には特別支援学校や、生活介護事業所、デイサービス、そのようなところに募集をしている。
吉原常務理事
県、支援学校名、名前、全部ホームページに掲載している。
清水会長
当初目的では地域父母のかを知ってもらうことではないので、軸を整理する。障害があってもアートに馴染み、そこに生きがいや、また自分の思わぬ能力を発揮する、何かを発見するという意味合いでこれを広めていくことが目的。
松田副会長
ホームページで募集はかけているが石川県では県肢連の方から支援学校や色々な団体に声かけしているので、県肢連を知ってもらうことにもつながる。

２．令和７年度予算案（案）の件

吉原常務理事
令和７年度予算案（案）の件の説明された。ＪＡＫ補助事業、福祉財団国庫補助事業については申請中で採択待ち。収入について、補助事業の申請額を減らした以外は概ね令和６度と同額見込。決算による前期繰越収支差額等も含め、令和７年第１回理事会に、第１次補正予算案として提示予定。
荻野理事
事業費の削除されている自販機管理運営費はどうなっているか。
清水会長
自販機管理運営費は昨年までは人件費をこの事業費の中に入れていた。削除して人件費をそのまま入れた。
荻野理事
自販機の還元金２６００万で計上されているが、ほぼ横並びという形で推移して大丈夫なのか。

清水会長
２５００万から２６００万ぐらいではないか。
荻野理事
担当者と話していると、自販機の売り上げが右肩下がりに下がっているという話はずっと聞いている。
清水会長
北海道は上がっている。北海道は多分、公共事業、公共施設が多いからではないか。コロナが全部回復してきたから右肩上がりになっている。
荻野理事
自販機が第三者機関に市の管理が公共に移ってしまい、こぼれてしまうのが結構ある。
清水会長
福井で言われたが、福井は２台残った。
荻野理事
取られたところを再度復活させる方策はないでしょうか
清水会長
身障法２１条の法律をどのように解釈するんだと強く言わないとだめ。その指定管理を受けた組合などがそんな自販機の少額の売り上げを欲しがるのかって言わないと。
現在、全肢連で持っているコカ・コーラの自販機は１３００台ぐらいある。事業費の広報宣伝費で看板ラミネートっていうのがあり、Ａ３サイズでさわやかレク活動内容などを入れて自販機に貼ることができる。コカ・コーラに写真を提供してそれをラミネートしてもらい、各営業所に送ろうと考えている。最近では公共施設、市役所などには売店ではなく自販機が多くなっている。これは福祉自販機なんだとわかるように我々も努力していかなければならない。
光延理事
分担金は負担に感じている。
植松副会長
理論を集約して雛形を作って、提案するべきと考える。分担会費だけではなく収入全体で考えなければならない。分担金に頼って運営していくのか、なくても運営できるような体制にしていくのかを考えなければならない。
清水会長
私自身整理ができていないので検討させてください。

３．第５８回全国大会（札幌大会）の件
清水会長
令和７年９月２７日（土）～２８日（日）に、大会は、北海道立道民活動センター（かでる２・７）にて開催。情報交換会は、ＡＮＡクラウンプラザホテル札幌で開催。
多くの会員等に参加いただきたい。
光延理事
テーマは、「住み慣れた地域で安心安全に暮らせる共生社会の実現」と統一テーマを決めたと記憶している。
植松理事
１０年くらい前に決めたはずである。
清水会長
４月に、北海道肢連の理事会で再検討し、５月の理事会で再提示したい。

本議案は異議なくこれを承認した。

第４号議案　能登半島地震義援金使途報告について
松田副会長
昨年１月１日の能登半島地震から１年３ヶ月が経ちました。全肢連の方々にご支援をお

願いしたところ早急に義援金口座を立ち上げていただき、義援金が５５０万余り、全肢連からは５０万弱合わせて６００万ぐらい集まった。新潟県肢連からの被災状況報告で２３万円を支払い、残りは石川県肢連にいただいた。被災された会員２５世帯に対応した。そのうち１１世帯については全壊、半壊等で３月に２０万を支給、昨年１２月には二次支援で２０万をお渡しした。また、施設や特別支援学校にも支援した。
多くの県、または寄付者からのご支援本当に感謝している。

本議案は異議なくこれを承認した。

第５号議案　その他報告事項等について
吉原常務理事
① 公益社団法人へ申請について
令和７年２月２７日に内閣府大臣官房公益法人行政担当室　システム担当に、公益認定申請書の申請・届出の提出完了。
② 自動販売機設置協定書について
手数料を支援金に改めた
③ ２０２５年公益財団法人日本財団補助事業不採択について
「車いすシーティングの実践で障害児者の未来をひらく！！」
幼児期から成長過程に応じ、正しい姿勢を保つ必要性を学ぶため全肢連会員・保護者・支援学校教職員等を対象に車いす使用者と適切な座位保持装置を選定し体験・実践する研修会を通し、生涯にわたり二次障害を防止し誰もが健康的な生活となることを目的とし、３か年事業として申請したが、令和７年２月２６日　不採択通知。別の形で事業展開できるよう構築中
④ 全国大会・ブロック大会の開催方法等について
今年度より、各ブロック大会での全肢連の位置づけは「共催」とする。また、全国大会・ブロック大会のメインテーマは「住み慣れた地域で共生社会の実現」とし、テーマを新しくする際には理事会で検討する。

本議案は異議なくこれを承認した。

閉会
以上、全議題を決議後、１６時３０分に議長は理事会の閉会を宣した。

次回、理事会

令和７年度第１回理事会
日時　令和７年５月２６日（月）１０：３０～１１：４５
場所　参議院議員会館１０３会議室

令和６年度監事監査（令和７年５月９日実施）

令和７年５月９日（金）、全肢連事務局において、大石辰夫監事・二重作誠一郎監事に出席いただき、令和６年度事業終了に伴うに監事監査を実施しました。
〇監査内容
・令和６年度事業報告書について
・令和６年度決算書について
資料については、５月２６日の総会資料でお示しいたします。

両監事からの意見
（１）事業報告書は、当会の事業の施行状況を正しく示し、不備の点はないと認めます。
（２）財産目録は、当会の財産を正しく示し、不備の点はないと認めます。
（３）貸借対照表は、当会の資産と負債の状況を正しく示し、不備の点はないと認めます。
（４）収支決算書及び補助事業収支決算書は、当会の収入と支出の状況を正しく示し、不備の点はないと認めます。
との意見をいただきました。

第４５回「うんと知りたいトイレの話」「車椅子使用者が経験した能登半島地震」

４月２４日（火）に、松田 郁夫石川県肢連会長、輪島市肢体不自由児者父母の会の坂下 喜美恵さん、熊野 真由美さんが登壇し、オンラインで標記セミナーが開催されました。一般社団法人日本トイレ協会ホームページに、セミナーの内容の詳細が公開されました。

Ａ４サイズで８ページにわたりますので、右記ＱＲコードを読み取り、スマホ等でご覧いただけますようお願いいたします。

なお、ご覧いただくことが難しい場合は、全肢連事務局までご連絡ください。

はままつフォーラム２０２５

４月１９日（土）、「親に何かあったとき、福祉でどんなことができる？」をテーマに
標記フォーラムが開催されました。

浜松地区肢体不自由児親の会や浜松育成会、その他障害者団体・相談支援専門員など多くの参加者がありました。

内容は、浜松市の相談体制、浜松市緊急時対応事業、浜松市障がい者ひとり暮らし体験事業などでした。

静岡県肢連大石辰夫会長は、「浜松育成会、相談支援の先生方、いつも情報提供ありがとうございます。勉強になりました」と話されました。

ともともフェスタ２０２５～迎賓館からはじまる「共生社会」～

障害者との相互理解促進のための交流イベントとして、５月３０日（金）～３１日（土）に、迎賓館赤坂離宮で開催されます。
全肢連も実行委員会に委員として参画しています。

ホームページ・お問い合わせ

メール tomotomofesta2025@jtb.com

https://tomotomofesta2025.jp

会場・アクセス

迎賓館赤坂離宮（東京都港区元赤坂2-1-1）　※迎賓館には駐車場及び駐輪場がありませんので、公共交通機関をご利用の上お越しください。

● JR中央線・総武線、丸ノ内線、南北線「四ツ谷」駅下車　徒歩約7分

主催：内閣府/ともともフェスタ2025～迎賓館からはじまる「共生社会」～実行委員会　事務局：(株)JTB

後援（予定）：こども家庭庁/法務省/厚生労働省/文部科学省/神奈川県/鳥取県/港区/新宿区/杉並区

協力（予定）：花王(株)/(公財)キリン福祉財団/キリンホールディングス(株)/サンエックス(株)/(株)タカラトミー/トヨタ自動車(株)/(株)ベネッセコーポレーション/(公財)共用品推進機構 他

第５回あーと展覧会２０２５

作品募集を開始しました。
たくさんの応募をお待ちしております。

事務局より

〇全国特別支援教育推進連盟第１回理事会
　令和７年５月２３日（金）　１４：００～　福祉財団ビル７階　大会議室
〇令和７年度全肢連第１回理事会
　令和７年５月26日（月）　１０：３０～１１：４５　参議院議員会館１０３会議室
〇令和７年度全肢連通常総会（兼各都道府県会長・同事務局長連絡会議）
　令和７年５月26日（月）　１３：00～１４：３０　参議院議員会館講堂（１階）
〇第６０回東海北陸肢体不自由児者父母の会連合会岐阜大会
　令和７年６月７日（土）　大垣フォーラムホテル（岐阜県大垣市）
〇令和７年度第１回障文芸ネット会議（総会）
　令和７年６月２３日（月）　オンライン
〇全国特別支援学校肢体不自由教育校長会総会
　令和７年６月２７日（金）　青少年オリンピックセンター